

個人課題研究では、教師がテーマを指定することは一切ありません。すべて生徒が自分で自分の関心を掘り下げて探求しながら自分でテーマをみつけます。そのため分野が非常に多岐に亘ります。他校でもなかなか同様の取り組みが行えない、もっとも厄介な事情です。今回の発表会でも、C会場・F会場・G会場、一部D会場ですが、複数の分野の混合発表となりました。それぞれの分野の専門家である教授・准教授・講師の先生方もそのためコメントに苦勞されながらも、高校生の研究発表としては非常に高いレベルにあると評価していただきました。

午後の全体会で、座長の先生方から講評をいただきましたが、医学の渡邊先生からはE2の佐藤瑠美さんの発表は医学部の大学院生の論文にも負けていないこと、医学の会場での質疑応答の内容が医学的具体的で、本当に高校生の論文発表なのか耳を疑ったことなどのコメントもいただきました。座長の先生方からは、講評の他にも「研究するということとはどのようなことなのか、大学・大学院でどのような研究ができるのか」についても講演していただき、非常に“濃い”、充実した1日となりました。来年度からはこの代表発表会の前に全員発表会ができないかどうかを、現在進路指導部が検討しています。

表をご覧になって、発表希望者に「田代ゼミ」のメンバーが多いことに気づかれると思います。これには理由があります。

論文締め切りも迫った11月末、本誌編集長の松本氏が授業をされている早稲田大学の「松本ゼミ」に、茗溪学園「田代ゼミ」を連れて行き、土曜午後の時間の許す限り希望者にプレゼンテーションをさせてきたのです。

聴衆の松本ゼミ早稲田大生を前に緊張しながらの発表。パワーポイントは情報や様々な授業で作り慣れていて私より上手なくらいですが、事前に、プレゼンテーションはわかりやすく発表することも大事だが質疑応答に真価が試される、と話していたのでドキドキ。そして、さすが早稲田松本ゼミ生。どんなに苦手な分野であろうと必ず質問が出ます。それは、



専門外であろうと、発表内容を最大限理解し、理解できた部分で質問をしていくことが発表者に対する礼儀であり、聴く側の義務であると身についている姿でした。田代ゼミの発表者たちにも、その熱意が伝わり、引きつりながらも必死に回答。いつもの知った顔の前での、気楽な質疑応答とまったく違った、緊張と充実感の混ざった体験をしました。

終了が遅くなり、急いで地下鉄の駅に向かう途中、発表した生徒たちは本当に充実した顔をしていました。この日発表しなかった生徒まで「今度こんな機会があったら絶対発表してみる」と目を輝かせていました。・・・これが、表に田代ゼミの生徒の多い理由です。

個人課題研究には、このコラムの「その20」、「その21」でも紹介したような、ゼミ員一人ひとりのドラマがあります。完成した論文を見ると、まるで最初からその結論に向かってまっしぐらに進んだかのようにまとめてありますが、高校生の研究でそんなことができるはずがありません。壁にぶつかって、用語がわからない、資料が見つからない、論文が英語やドイツ語しかない、専門家から手ひどく批判されたり「無理だ」の一言で済まされたり・・・まさに紆余曲折、青息吐息でここまで辿り着いています。だからこそ見えてくるものがあります。そういう、“一人ひとりのドラマ29回生編”をそのうちご紹介いたします。

この発表会のパンフレットを、ご希望の方にお送りします。
下のアドレスまで、eメールでどうぞ。

茗溪学園中学校高等学校
〒305-8502 茨城県つくば市稲荷前 1-1
TEL. 029-851-6611(代) FAX. 029-851-5455
www.meikei.ac.jp, メール: entry@meikei.ac.jp

田代 淳一 (たしろ じゅんいち)

茗溪学園中学校高等学校 教務部長・教員(化学)



茗溪学園では前向きで明るく逞しく積極的な青年が育っています。

「有名大学に行きたいから勉強する」のではなく、「中学・高校時代にいろいろな事に挑戦し、失敗し、考え、自分を探して、自分で自分の将来をみつけ、自分で歩いていく。その方向が地球を救い、人類の未来を拓く方向であってほしい。」そう考え、支援するのが茗溪学園の教員の役割です。

海外生・帰国生が自分の力で自分の未来を切り拓いてきた経験はここで開花します。



ついに、個人課題研究(茗溪では「こじけん」)の発表会が実現。

発表だけではなく、司会も生徒。これも立派な Study Skills のトレーニング。やる時は徹底して! 生徒と先生、全員に拍手!

筑波大学は、茗溪学園の親戚(?)。すごく協力してもらいましたね。お互いにすごくメリットがあると思いますから、親戚付き合いは大切に。初めての発表会、私自身も見学したかった。来年は是非!

でも、今年分をビデオでホームページに掲載? 田代先生、いかが?